

第1回 まちなか再生・賑わい波及検討分科会 議事録

日 時:令和 7 年(2025年)7 月 23 日(水)13:30～

場 所:議会棟 2F 予算決算委員会室

参加者:(委 員)国吉分科会長、田中委員、吉城委員、山下委員
(事務局)都市デザイン課
(関係課)市街地整備課、交通企画課、庁舎周辺まちづくり課

・第1回分科会は審議事項に、熊本市情報公開条例第7条第6号(審議、検討等に関する情報)に該当する不開示情報が含まれるため、分科会長発議により、「まちなか再生・賑わい波及検討分科会運営要綱」第7条2項に基づき、非公開で開催した。

1. 開会

2. 分科会長挨拶

3. 議事

(1)現状の関連施策について

(内容)

- ・事務局から、現状の関連施策を説明し、今後の本分科会の進め方や現状施策と今後の審議の関連性について議論を行った。
- ・同資料を整理し、検討委員会に提示することで決定。

(主なご意見)

- ・庁舎周辺まちづくりプラン(仮称)の対象エリアの中をゾーン分けしてまちのデザイン・景観を検討するということで理解した。(吉城委員)
- ・ウォーカブル施策については、新庁舎からアーケード街に向けての電車通りの横断だけでなく、交通の課題や老朽化建築物の建て替えなども踏まえ、体系的に具体的な対策を議論していきたい。(吉城委員)
- ・電車通りの横断をどう考えていくかが重要。兵庫県明石市では、明石駅前の再開発事業の一環で、国道をまたぐ歩道橋を整備されている。熊本市電が通行し、桜町バスターミナルに向かうバスの通行が多く重要な動線なので、歩車分離を進めることで安全性が高まり、バスや市電の運行もスムーズになるのでは。(山下委員)
- ・ウォーカブル施策を考えるうえでは、バリアフリーや緑陰の配置などをどう繋げていくか、歩行者目線でのネットワーク検討が必要。(山下委員)
- ・歩行者ネットワークの強化のためには、角地に広場を配置し、居場所を作っていくとよいのでは。複数の建物の複合化による建て替えをする場合に検討するなど、今後議論して

いけると良い。(国吉委員、山下委員)

・まちなか再生や賑わい・回遊性などの各論を進めていく前に、(対象エリア)全体の将来像(ビジョン)が必要。現庁舎跡地(周辺)利活用検討専門分科会と連携し、市民や企業等の方々の意見も聴きながらまちの将来像(ビジョン)を共に作るべき。(国吉委員、田中委員)

(2)その他

① 分科会の運営について

・将来像(ビジョン)の検討も含め、当分科会は、現庁舎跡地(周辺)利活用検討専門分科会と密接に関係するため、今後は議題の内容に即し、分科会を合同で開催するなど、柔軟に対応していきたい。(国吉委員)

4. 閉会